

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期毎に調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、平成29年10月～12月期の業況実績と、平成30年1月～3月期の見通しについて、管内770先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てれば幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
2018年(平成30年)の経営見通し	19

(注) 平成29年10～12月を今期、平成29年7～9月を前期、平成30年1～3月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	229	202	88.2	29.6
卸売業	36	32	88.9	4.7
小売業	230	205	89.1	30.0
サービス業	130	120	92.3	17.6
建設業	111	98	88.3	14.3
不動産業	34	26	76.5	3.8
合計	770	683	88.7	100.0

◆◆◆ 概 況 ◆◆◆

《 2017・10～12 月 》

日本銀行は、北陸三県の景気判断をバブル期直後以降初めて「拡大している」との表現で平成29年を締めくくった。製造・非製造業ともに改善を示し、設備投資の動きも強まり、業績改善が中小企業にも広がってきている。また、株式市場も株高で推移した。金沢市内では、ホテルの開発が連日新聞紙上に掲載され、平成30年度末までには1千室以上が上乘せされる予定で、客室数が名古屋を抜く可能性も出てきたという。

こうした中、当金庫営業地区の今期（平成29年10月～12月）業況D.I.は、△11.1（前期△13.6）と改善を示した。

地区内全体では、電子部品やデバイス、医薬品が好調であった製造業、公共工事の受注が増加した建設業、仲介・管理が堅調に推移した不動産業で改善を示した。一方、食品、日用品が低迷した卸売業や、小売業では自動車や衣料品の売り上げが減少、サービス業では奥能登でのイベントによる入込客数は確保したが、全体では宿泊業・観光業はやや低迷、理・美容業や車両修理業などが悪化した。

地場産業では、電子部品・半導体製造業でスマートフォン向けが好調を維持しており、漆器業も改善した。住宅用木製品の需要が増加した建具業では大幅な改善を示している。自動車内装用が好調であった反面、衣料品向けが低調であった織布業の改善幅は少なかった。売上げの減少が続く縫製業やレース分野が低迷している繊維・雑品業は横ばいで推移し、木材業や入込客数が漸減している観光業は悪化となった。

来期（平成30年1月～3月）の地区内における業況D.I.は、△21.7と悪化を予想する。地区内全体では、すべての業種が悪化すると予想しており、特にサービス業、不動産業の悪化が大きい。

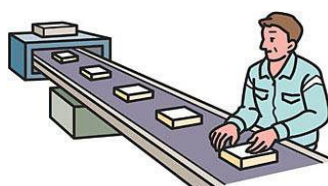
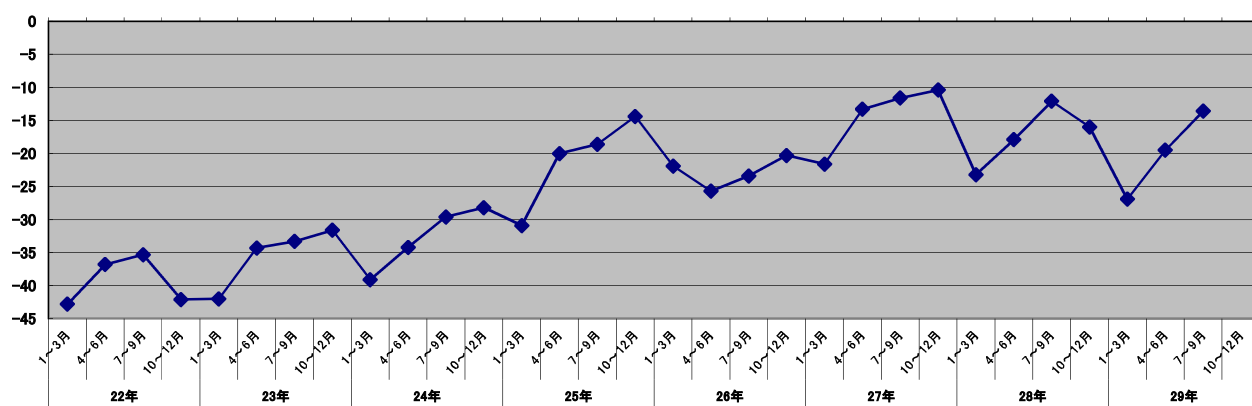
地場産業においては、電子部品・半導体製造業は引き続き好調を維持し、織布業や繊維・雑品業も改善に転じると予想する。縫製業、木材業では横這いでの推移を予想しており、漆器業、建具業、オフシーズンを迎える観光業は悪化を見込む。

加えて、ほとんどの業種で人手不足が深刻さを増している。特に非製造業での介護、小売などの分野が厳しく、小規模企業ほど人手確保に苦慮している状況である。来期以降もさらに人手不足問題が深刻化することが明らかと思われ、今後の最大の課題となることは間違いない。これを受けて、企業の中には複数の仕事を一人でこなす「多能工」の育成を急ぐ動きが見られ、課題を乗り越えるべく人材の確保を目指す。

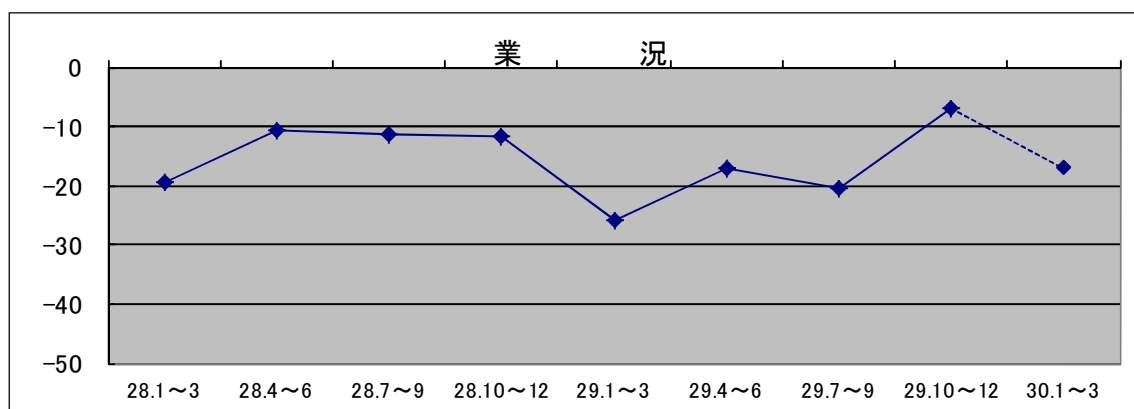
10月22日に終了した『奥能登国際芸術祭2017』には、50日の期間中、予想をはるかに超える7万1千人の来訪者があり、交流人口の増加や地域経済においても大きくプラスとなった。成功の陰には、休む暇なく来訪者対応に追われていたスタッフの努力があったと聞く。作品のほとんどは終了後に撤去されるが、いくつかは残す意向とのこと。地元の珠洲市では3年ごとの開催に意欲を示している。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H22年	1～3月	△ 42.8	H26年	1～3月	△ 21.9
	4～6月	△ 36.8		4～6月	△ 25.7
	7～9月	△ 35.3		7～9月	△ 23.4
	10～12月	△ 42.1		10～12月	△ 20.3
H23年	1～3月	△ 42.0	H27年	1～3月	△ 21.6
	4～6月	△ 34.3		4～6月	△ 13.3
	7～9月	△ 33.3		7～9月	△ 11.6
	10～12月	△ 31.6		10～12月	△ 10.4
H24年	1～3月	△ 39.1	H28年	1～3月	△ 23.2
	4～6月	△ 34.2		4～6月	△ 17.9
	7～9月	△ 29.6		7～9月	△ 12.1
	10～12月	△ 28.2		10～12月	△ 16.0
H25年	1～3月	△ 30.9	H29年	1～3月	△ 26.9
	4～6月	△ 20.0		4～6月	△ 19.5
	7～9月	△ 18.6		7～9月	△ 13.6
	10～12月	△ 14.4		10～12月	△ 11.1



製造業



【概 況】

製造業全体での今期（H29.10～12月）の業況D.I.は、△7.0（前期△20.5）と大きく改善を示した。世界的なIoTの流れもあり電子部品が特に好調で、従来スマートフォン中心であったものが、自動車関連の電装化が進むなどで裾野が多様化している。また、医薬品や土木建設機械の需要も多い。一方、繊維関連では衣料品向けが低迷している。

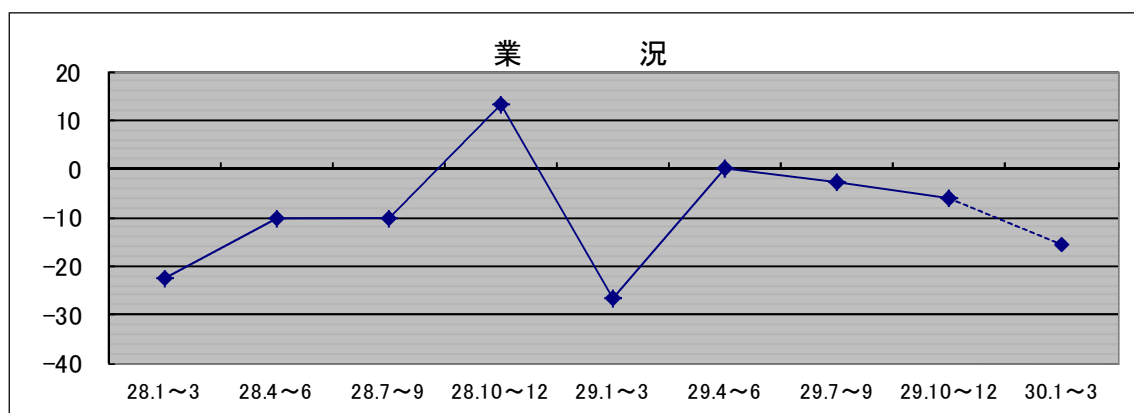
来期（H30.1～3月）の業況D.I.は△16.9と悪化を予想する。しかしながら、地区内景況の悪化を見込む企業は増えているわけではなく、季節要因を踏まえての予想との見方もある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△19.4	△10.8	△11.2	△11.8	△26.0	△16.9	△20.5	△7.0	△16.9
売 上	△22.3	△2.5	△7.1	△2.9	△23.0	△6.5	△17.6	2.0	△15.4
収 益	△18.4	△5.9	△10.7	△4.9	△29.0	△9.5	△19.0	△6.5	△11.9
資金繰り	△18.9	△10.8	△7.6	△9.8	△15.5	△10.0	△16.1	△10.4	△13.9
人 手	△11.2	△11.3	△7.6	△10.3	△11.5	△11.4	△8.3	△14.9	△12.4
設 備	△7.8	△7.8	△9.1	△6.9	△6.0	△6.5	△5.4	△6.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.8 %	提携先を見つける	27.4 %
輸入製品との競争の激化	12.7 %	経費を節減する	18.3 %
同業者の競争の激化	9.8 %	販路を広げる	17.9 %

卸売業



【概 況】

食肉、木材製品、建設資材などが好調であったが、食料品、日用品、塗料などが低迷した。結果、卸売業全体の今期（H29.10～12月）業況D.I.は△6.2（前期△3.0）と悪化を示した。

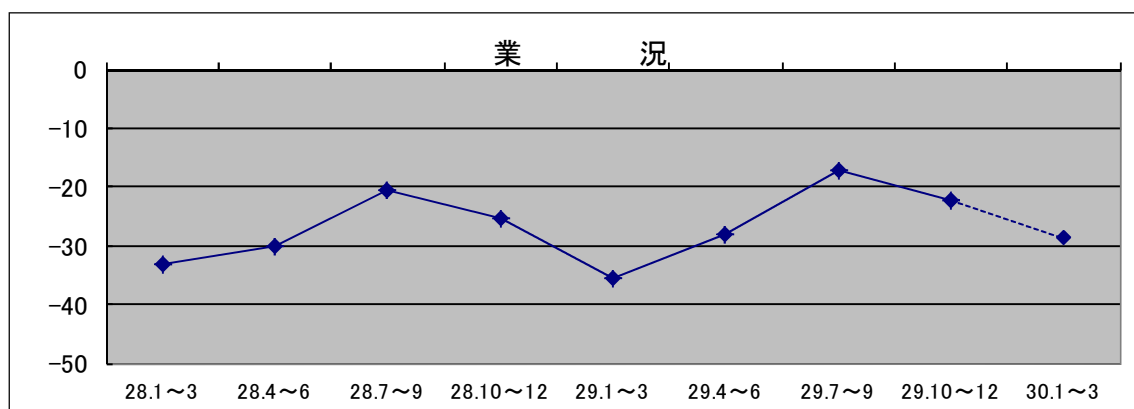
来期は引き続き食肉、建設資材が好調に推移し、燃料関連も改善が見込まれる。一方、住宅販売の減少に伴う木材製品や青果が悪化に転じ、食料品の低迷も続くと思われている。したがって、来期（H30.1～3月）の卸売業全体の見通しは、△15.6と更なる悪化を予想する。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△22.6	△10.3	△10.0	13.3	△26.5	0.0	△3.0	△6.2	△15.6
売 上	△25.8	△3.4	△23.3	△6.7	△41.2	5.7	△3.0	△12.5	△18.8
収 益	△32.3	△6.9	△23.3	△3.3	△44.1	0.0	△3.0	△9.4	△15.6
資金繰り	△6.5	△10.3	△10.0	△3.3	△17.6	△11.4	6.1	△3.1	△9.4
仕入価格	9.7	17.2	10.0	△3.3	△5.9	5.7	9.1	9.4	12.5
在 庫	3.2	3.4	3.3	0.0	△17.6	△5.7	0.0	3.1	3.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.1 %	提携先を見つける	31.1 %
同業者間の競争の激化	14.0 %	経費を節減する	21.1 %
合理化の不足	11.6 %	販路を広げる	16.7 %

小売業



【概 況】

個人消費の判断が下方修正されたことからわかるように、住宅販売が落ち着き、新車はメーカーの検査問題で販売が減少した。衣料品全体でも販売不振による売り上げが減少し、特に婦人服が苦戦した。スーパーやドラッグストア、ホームセンターは好調に推移した。今期（H29.10～12月）の業況D.I.は△22.3（前期△17.2）と悪化を示した。

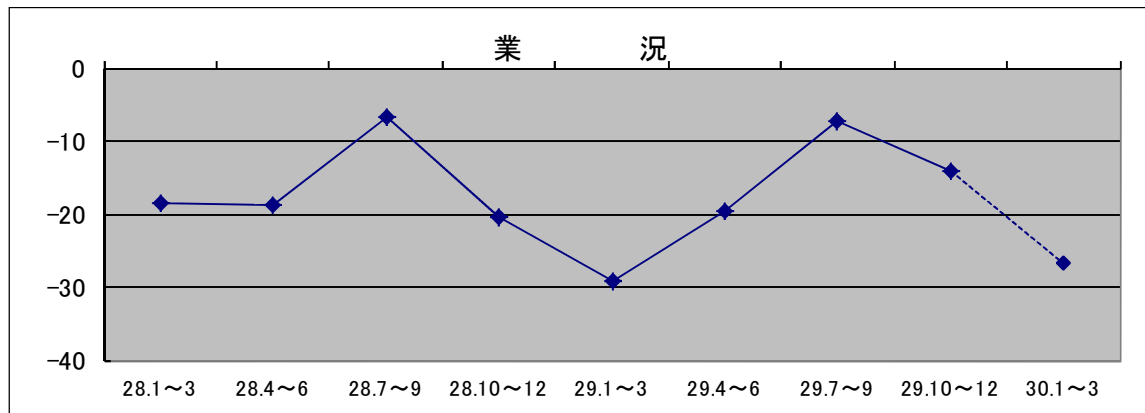
来期（H30.1～3月）業況D.I.についても△28.6と更なる悪化を予想する。生産業の好調さが賃金の上昇に結びついていないことから、消費マインドの醸成につながらないと見込んでいる。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△33.3	△30.0	△20.6	△25.2	△35.7	△28.2	△17.2	△22.3	△28.6
売 上	△22.7	△21.0	△10.3	△21.8	△29.5	△16.8	△3.3	△13.6	△25.2
収 益	△24.2	△24.3	△13.2	△24.8	△30.0	△17.3	△7.7	△15.0	△25.2
資金繰り	△24.6	△20.5	△16.2	△27.7	△26.1	△14.9	△14.4	△17.5	△18.4
販売価格	△5.8	1.0	△1.5	1.0	1.9	△2.5	3.8	7.3	△1.9
在 庫	1.9	4.3	3.9	0.0	△7.2	△2.0	1.9	5.3	3.9

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.9 %	仕入先を開拓・選別する	29.0 %
地価の高騰	14.9 %	経費を節減する	21.5 %
商圈人口の減少	13.1 %	品揃えを改善する	11.8 %

サービス業



【概 況】

秋の観光シーズンの終盤を迎え、新幹線効果の薄れもあり主要観光地への入込客数が年々漸減している。能登地区においての宿泊関連業や飲食業は「奥能登国際芸術祭2017」の恩恵もあって好調であったが、地区内全体では理・美容業や車両修理業などが低迷した。結果、サービス業全体の今期（H29.10～12月）業況D.I.は△14.2（前期△7.3）と悪化した。

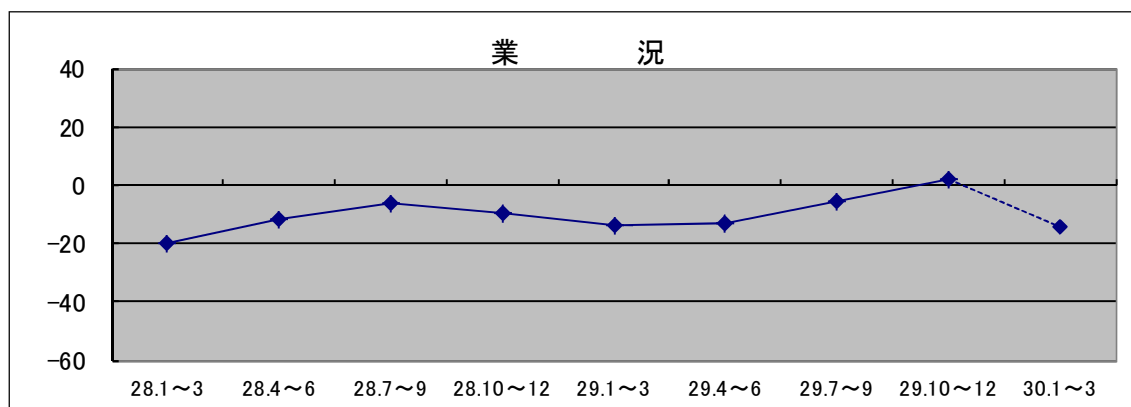
来期（H30.1～3月）のサービス業全体でのD.I.見通しは、特にイベントも無く、観光のオフシーズンを迎えることもあって△26.7と更なる悪化を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業況	△18.6	△18.8	△6.8	△20.3	△29.3	△19.5	△7.3	△14.2	△26.7
売上	△19.5	△10.7	0.0	△15.3	△29.3	△14.4	2.4	△14.2	△25.0
収益	△22.9	△13.4	△8.5	△19.5	△33.6	△17.8	△4.0	△19.2	△30.0
資金繰り	△18.6	△17.0	△16.2	△15.3	△24.1	△20.3	△16.1	△15.8	△15.8
料金価格	△2.5	△0.9	△3.4	△1.7	△6.0	△5.9	1.6	△3.3	△5.0
設備	△6.8	△8.0	△8.5	△7.6	△7.8	△9.3	△8.1	△12.5	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	16.5 %	提携先を見つける	27.2 %
売上の停滞・減少	15.6 %	経費を節減する	18.1 %
同業者間の競争の激化	11.0 %	宣伝・広告を強化する	12.2 %

建設業



【概 況】

今期（H29. 10～12月）業況D.I.は2.0（前期△5.8）と3期連続で改善を示した。新幹線延伸に伴う工事や道路舗装工事の増加など、業界全体での公共工事受注も多かったことで堅調に推移した。

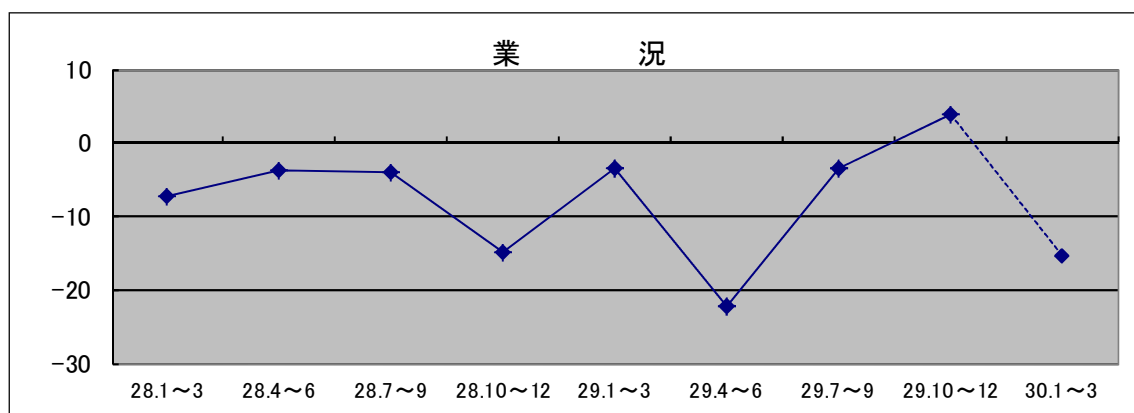
来期（H30. 1～3月）の業況D.I.は△14.3と悪化に転じると予想している。冬季を迎えることで降雪による工事への影響も予想されるが、人手不足が顕著で、中には現場に常駐する監督者が不足し、工事に遅れが発生しているとの状況も聞かれる。来年以降も人手確保が重要な課題となると思われ、そのための人件費高騰が収益を圧迫する懸念もある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△19.8	△11.6	△5.9	△9.9	△14.0	△13.0	△5.8	2.0	△14.3
売 上	△18.8	△3.2	2.0	△5.0	△19.0	△3.0	△2.9	△5.1	△21.4
収 益	△20.8	△6.3	1.0	△9.9	△18.0	△8.0	△7.8	△7.1	△23.5
資金繰り	△15.8	△7.4	△5.9	△10.9	△16.0	△10.0	△10.7	△8.2	△8.2
請負価格	△14.9	△6.3	△2.9	△16.8	△10.0	△5.0	1.0	△7.1	△10.2
人 手	△3.0	△5.3	△8.8	△10.9	△11.0	△11.0	△7.8	△14.3	△8.2

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	14.5 %	技術力を高める	30.3 %
同業者間の競争の激化	14.5 %	経費を節減する	19.5 %
人件費以外の経費の増加	11.8 %	販路を広げる	13.0 %

不動産業



【概 況】

地区内景況の改善もあって不動産仲介、管理業が好調に推移した。今期（H29.10～12月）の業況D.I.は3.8（前期△3.6）と2期連続で改善を示した。現状では在庫も十分に確保されていることから、今後も売上・収益ともにやや悪化するものの堅調さを持続するとみられるが、それに反して来期（H30.1～3月）の業況D.I.は△15.4と大きく悪化を予想する。

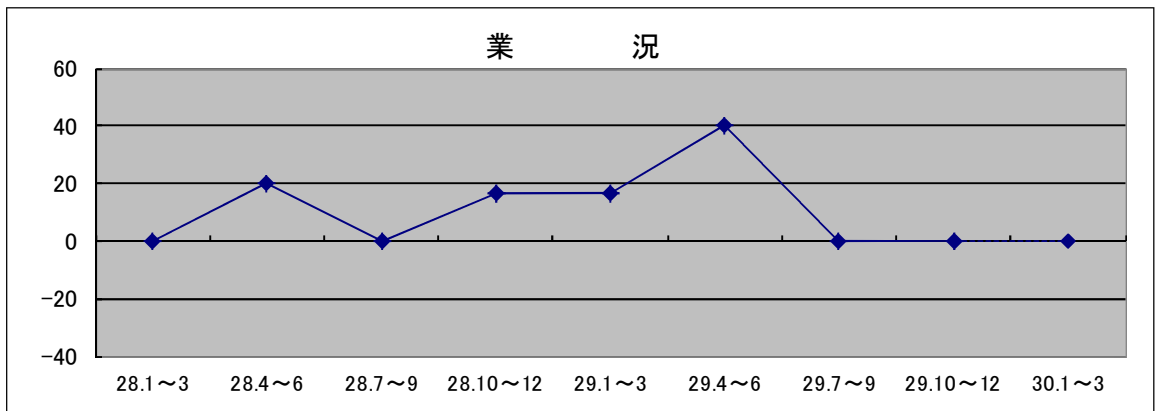
経営の問題点の一つとして利幅の縮小を挙げる先も多く、売上の停滞・減少とも相まって資金繰りの更なる悪化にもつながると見ている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△7.4	△3.8	△4.0	△14.8	△3.6	△22.2	△3.6	3.8	△15.4
売 上	0.0	3.8	0.0	7.4	7.1	3.7	17.9	11.5	7.7
収 益	△3.7	0.0	△8.0	7.4	10.7	3.7	17.9	7.7	3.8
資金繰り	△18.5	△3.8	△8.0	△11.1	△7.1	△11.1	△7.1	△7.7	△19.2
販売価格	0.0	11.5	16.0	7.4	△3.6	△3.7	7.1	11.5	3.8
在 庫	△3.7	7.7	12.0	3.7	△3.6	△18.5	△7.1	7.7	△7.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
大手企業との競争の激化	33.3 %	販路を広げる	22.2 %
利幅の縮小	25.0 %	情報力を強化する	20.4 %
売上の停滞・減少	25.0 %	宣伝・広告を強化する	14.8 %

能登地区の縫製業



【概 況】

売上の減少が続いているものの、従業員数に見合った受注の確保は出来ている。結果、今期（H29. 10～12月）の業況D.I.は0.0（前期0.0）と横這いで推移した。

来期（H30. 1～3月）も業況D.I.を0.0と2期連続の横這いを予想しているが、一部でまとまった受注発生が見込まれる企業も有ることから、売上、収益とも大幅な改善予想を示しており、今後、業界全体に波及することを期待する。

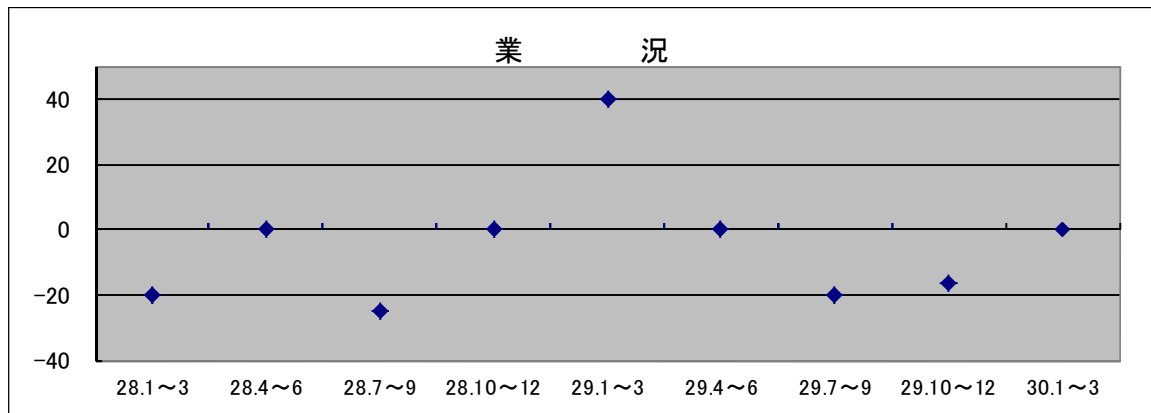
一方で、地区内においては年々調査対象企業が減少傾向にあり、人口減少も相まって慢性的な人手不足が続いている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	0.0	20.0	0.0	16.7	16.7	40.0	0.0	0.0	0.0
売 上	16.7	0.0	△14.3	16.7	16.7	0.0	△40.0	△33.3	33.3
収 益	0.0	0.0	△14.3	16.7	16.7	△20.0	△20.0	△33.3	33.3
資金繰り	△16.7	△40.0	△14.3	0.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0
人 手	△16.7	△20.0	△42.9	△33.3	△33.3	△40.0	△40.0	△66.7	△66.7
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	28.6 %	経費を節減する	33.3 %
地価の高騰	21.4 %	新製品・技術を開発する	33.3 %
人手不足	14.3 %	労働条件を改善する	16.7 %

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

今期は製造業全体が大幅に改善した中において、電子部品・半導体製造業では過去最高の生産水準を見た。業界全体の今期（H29.10～12月）D.I.についても、△16.7（前期△20.0）と改善を示した。特にスマートフォン向けが好調を維持している。

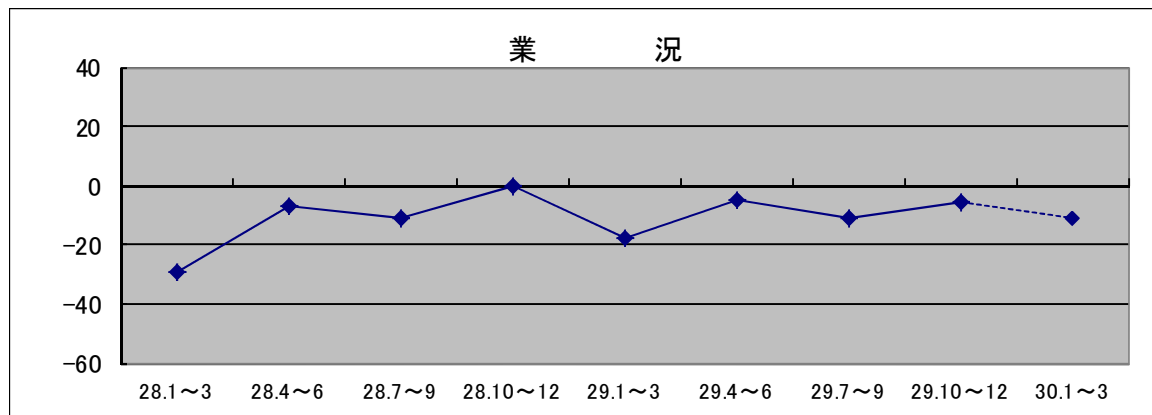
来期（H30.1～3月）の業況D.I.は0.0と更なる改善を見込む。企業の中には、受注残の積み上げにより今後もフル稼働が続くと予想する先も見られる。しかしながら、人手不足がさらに深刻さを増していることから、今後の大きな課題と捉える経営者が多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△20.0	0.0	△25.0	0.0	40.0	0.0	△20.0	△16.7	0.0
売 上	△20.0	20.0	0.0	50.0	0.0	28.6	0.0	0.0	△16.7
収 益	0.0	△20.0	25.0	50.0	0.0	0.0	△40.0	0.0	0.0
資金繰り	20.0	△20.0	25.0	△16.7	0.0	14.3	20.0	0.0	0.0
人 手	0.0	△20.0	50.0	△16.7	0.0	14.3	0.0	△16.7	△16.7
設 備	0.0	△20.0	△25.0	16.7	0.0	0.0	△20.0	△16.7	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	30.0 %	提携先を見つける	28.6 %
輸入製品との競争の激化	20.0 %	経費を節減する	21.4 %
利幅の縮小	20.0 %	販路を広げる	14.3 %

能登地区の漆器業



【概 況】

秋の観光シーズンという季節的要素もあって売上が大きく改善し、結果今期（H29.10～12月）の業況D.I.は△5.6（前期△11.1）と改善を示した。しかしながら、収益には結びついていないことから売上単価が少額で推移したことが窺える。

来期（H30.1～3月）は冬季ということもあり、入り込み人口の減少に伴う売り上げへの悪影響も予想されることから、業況D.I.は△11.1と悪化を予想している。

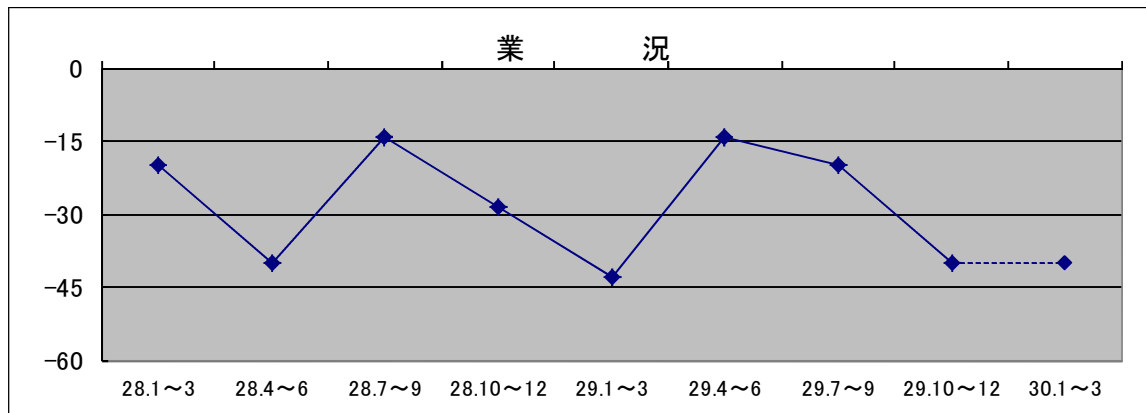
近年、輪島塗が高級ホテルの内装材として注目を集めており、海外からの視察も増加傾向にあるなど新たな分野への進出にも可能性が出てきている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△29.4	△6.7	△11.1	0.0	△17.6	△5.0	△11.1	△5.6	△11.1
売 上	△5.9	6.7	△11.1	△7.1	11.8	5.0	11.1	16.7	5.6
収 益	△5.9	13.3	△11.1	△7.1	5.9	10.0	11.1	5.6	5.6
資金繰り	△5.9	△13.3	△11.1	△21.4	△5.9	△5.0	△5.6	△5.6	△5.6
人 手	△11.8	△33.3	0.0	△14.3	0.0	△10.0	△11.1	△11.1	△11.1
設 備	0.0	△20.0	△16.7	△14.3	△5.9	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	18.3 %	提携先を見つける	27.9 %
売上の停滞・減少	15.0 %	販路を広げる	20.6 %
人件費の増加	13.3 %	情報力を強化する	17.6 %

能登地区の木材業



【概 況】

今期は外材の入荷状況にバラつきが見られたが、地元丸太の売り上げについては堅調に推移した。一方、住宅ローン金利低下による住宅販売にも一服感が漂い住宅着工戸数の減少もあって、今期（H29. 10～12月）の業況D.I.は△40.0（前期△20.0）と悪化を示した。

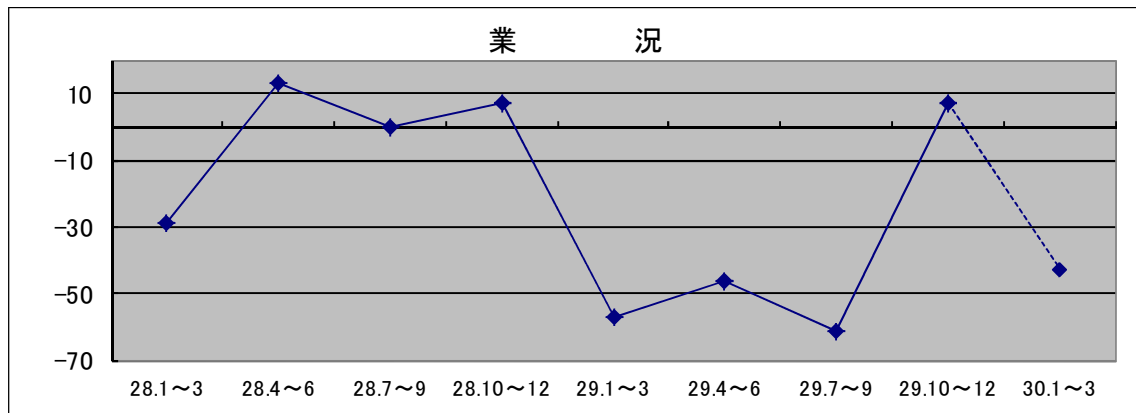
来期（H30. 1～3月）については、しばらく住宅販売の落ち着きからの着工戸数伸び悩みが続くとみられ、業況D.I.は△40.0と横ばいを予想するも、業界では好調な製造業の流れを受け、運送業界の貨物搭載用パレットへの需要増加が見込まれる。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△20.0	△40.0	△14.3	△28.6	△42.9	△14.3	△20.0	△40.0	△40.0
売 上	△20.0	△40.0	△14.3	△14.3	△28.6	△28.6	△20.0	△40.0	△40.0
収 益	△20.0	△40.0	△28.6	△14.3	△14.3	△14.3	△20.0	△40.0	△40.0
資金繰り	0.0	△20.0	△14.3	△28.6	0.0	△14.3	△20.0	△40.0	△40.0
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	△42.9	△42.9	0.0	0.0	0.0
設 備	△20.0	△20.0	△14.3	△14.3	△14.3	0.0	△20.0	△20.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	25.0 %	経費を節減する	15.4 %
同業者間の競争の激化	16.7 %	販路を広げる	15.4 %
合理化の不足	16.7 %	情報力を強化する	15.4 %

能登地区の建具業



【概 況】

昨年に比べ低迷が続いていたが、住宅用木製品の需要が増加したことで今期（H29.10～12月）業況D.I.は7.1（前期△61.5）と大幅な改善を示した。

来期（H30.1～3月）の見通しは、住宅販売の落ち着きからの着工戸数伸び悩みが見込まれることで、業況D.I.は△42.9と悪化を予想している。

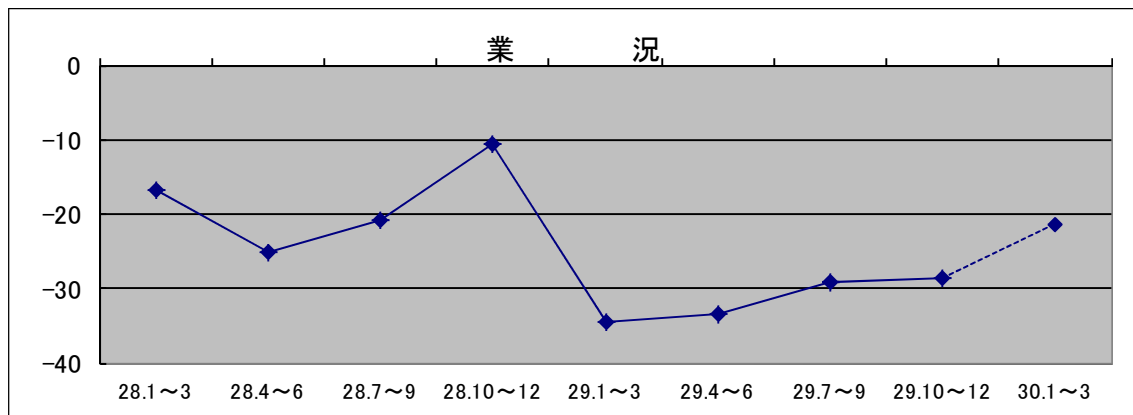
地元業者が、業界の活性化を図るべく海外展開も視野に入れ、他社と新会社を設立することで合意したとの情報がある。各社の強みを活かして連携し販路拡大を目指していく。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△28.6	13.3	0.0	7.1	△57.1	△46.2	△61.5	7.1	△42.9
売 上	△64.3	20.0	6.7	△7.1	△50.0	△23.1	△38.5	0.0	△42.9
収 益	△28.6	6.7	0.0	△7.1	△71.4	△38.5	△61.5	△21.4	△57.1
資金繰り	0.0	△6.7	△6.7	△14.3	△50.0	△38.5	△53.8	△21.4	△21.4
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	7.7	0.0	△14.3	△7.1
設 備	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.7	57.7	△7.1	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	16.3 %	提携先を見つける	30.0 %
売上の停滞・減少	14.3 %	販路を広げる	23.3 %
利幅の縮小	8.2 %	経費を節減する	16.7 %

能登地区の織布業



【概 況】

業界全体では、自動車内装材向けが伸びたものの、衣料品向けが低迷したことから、今期（H 2 9 . 1 0 ～ 1 2 月）業況 D . I . については△ 2 8 . 6（前期△ 2 9 . 0）と、ほぼ横ばいを示した。

来期（H 3 0 . 1 ～ 3 月）の D . I . については、△ 2 1 . 4 と改善を予想している。

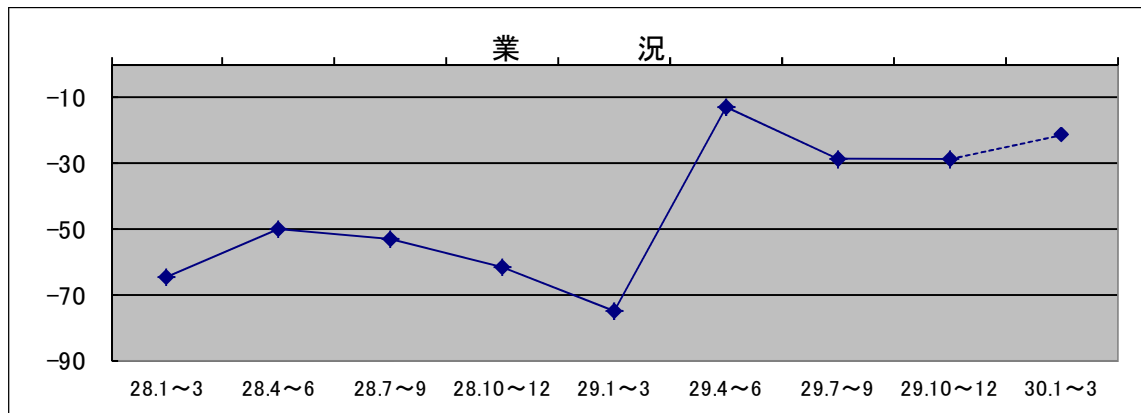
地元の商工会では、業界の活性化につなげたいとして、服飾用デザインの図案を開発しインターネット販売に乗り出す計画がある。年明けにも専用ホームページを立ち上げる予定としている。

《業績判断 D . I . の推移》

	平成 28 年				平成 29 年				見通し
	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
業 況	△16.7	△25.0	△20.8	△10.7	△34.5	△33.3	△29.0	△28.6	△21.4
売 上	△20.8	△12.5	△16.7	△3.6	△27.6	△22.2	△29.0	△25.0	△35.7
収 益	△16.7	△20.8	△25.0	△7.1	△37.9	△18.5	△22.6	△25.0	△21.4
資金繰り	△16.7	△8.3	△8.3	△7.1	△10.3	△3.7	△12.9	△14.3	△7.1
人 手	△20.8	△12.5	△16.7	△3.6	△17.2	△18.5	△6.5	△10.7	△10.7
設 備	△12.5	0.0	4.2	0.0	3.4	△7.4	△3.2	△3.6	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.4 %	提携先を見つける	35.9 %
輸入製品との競争の激化	12.3 %	経費を節減する	23.1 %
人件費の増加	9.6 %	販路を広げる	17.9 %

能登地区の繊維・雑品業



【概 況】

引き続き医療用高機能繊維の受注が好調に推移するも、ゴム入り細巾織物の総体的受注が前年を割り込んでおり、レースでは特にエンブレースの低迷が続いている。今期（H29. 10～12月）業況D.I.は△28.6（前期△28.6）と横ばいで推移した。

来期（H30. 1～3月）の業況D.I.は△21.4と改善を予想している。

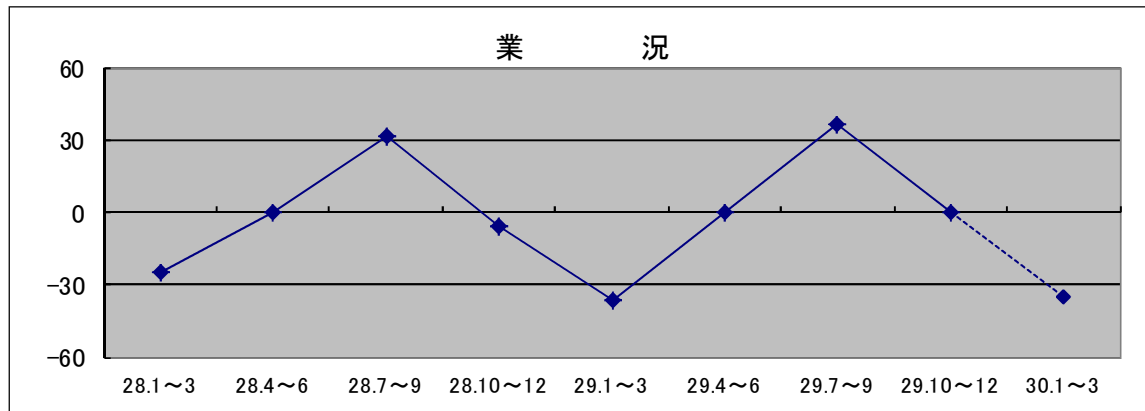
経営上の問題点として人件費の増加を挙げる企業が多く見られ、この業界も人手不足が深刻さを増していることが窺える。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△64.7	△50.0	△53.3	△61.5	△75.0	△13.3	△28.6	△28.6	△21.4
売 上	△58.8	△22.2	△53.3	7.7	△83.3	△13.3	△21.4	△21.4	△14.3
収 益	△41.2	△16.7	△53.3	7.7	△83.3	△13.3	△28.6	△21.4	△14.3
資金繰り	△47.1	0.0	△26.7	△15.4	△33.3	△6.7	△21.4	△21.4	△21.4
人 手	5.9	△5.6	0.0	△7.7	0.0	0.0	7.1	△28.6	△28.6
設 備	5.9	0.0	0.0	△15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	20.5 %	提携先を見つける	21.6 %
売上の停滞・減少	15.9 %	経費を節減する	18.9 %
人件費の増加	11.4 %	販路を広げる	16.2 %

能登地区の観光業



【概 況】

新幹線開業から3年目、入込客数が毎年漸減しているなど、徐々に効果の薄れが影響を与えるようになってきている。業界全体では、今期（H29.10～12月）業況D.I.は0.0（前期36.4）と大きく悪化した。

9月から10月にかけて開催された「奥能登国際芸術祭2017」には、県内外から予想を超える多くの来場者が有り、奥能登地区ではかなりののにぎわいを見せたが、全体への波及は限定的であった。

来期（H30.1～3月）業況D.I.は△35.0と、例年同様冬季を迎えることもあって、観光客の減少に伴い更なる大幅な悪化を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	平成28年				平成29年				見通し
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況	△25.0	0.0	31.2	△5.6	△36.8	0.0	36.4	0.0	△35.0
売 上	△35.0	17.6	68.8	△16.7	△52.6	5.0	68.2	10.0	△55.0
収 益	△45.0	11.8	50.0	△16.7	△52.6	0.0	54.5	△10.0	△50.0
資金繰り	△5.0	0.0	6.2	△11.1	△5.3	△20.0	△4.5	△5.0	△10.0
料金価格	0.0	5.9	0.0	△5.6	△21.1	0.0	△9.1	5.0	△5.0
設 備	△15.0	△17.6	△25.0	△22.2	△5.3	△10.0	△9.1	△20.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	16.9 %	提携先を見つける	23.1 %
売上の停滞・減少	10.8 %	宣伝・広告を強化する	21.2 %
地場産業の衰退	10.8 %	経費を節減する	19.2 %

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	うち所定外
28年 1月	1.49	142.0	11.0
28年 2月	1.49	148.3	10.8
28年 3月	1.53	152.2	11.0
28年 4月	1.60	156.0	10.9
28年 5月	1.64	143.4	10.3
28年 6月	1.67	155.4	10.5
28年 7月	1.65	154.4	11.2
28年 8月	1.60	148.9	10.7
28年 9月	1.62	151.2	11.2
28年 10月	1.62	149.2	11.4
28年 11月	1.67	153.0	11.8
28年 12月	1.68	152.1	12.0
29年 1月	1.76	141.6	11.6
29年 2月	1.80	151.0	11.8
29年 3月	1.82	151.9	12.2
29年 4月	1.86	156.3	12.2
29年 5月	1.90	146.8	11.6
29年 6月	1.92	157.9	11.7
29年 7月	1.88	154.1	11.7
29年 8月	1.86	147.5	11.2
29年 9月	1.84	154.0	11.9
29年10月	1.84	152.2	11.9

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
28年 1月	99.3	-0.7
28年 2月	99.1	-0.2
28年 3月	99.4	-0.5
28年 4月	99.7	-0.4
28年 5月	99.7	-0.6
28年 6月	99.7	-0.4
28年 7月	99.6	-0.5
28年 8月	99.6	-0.6
28年 9月	99.6	-0.6
28年 10月	100.1	0.0
28年 11月	100.3	0.4
28年 12月	100.1	0.3
29年 1月	99.9	0.6
29年 2月	100.0	0.8
29年 3月	100.0	0.6
29年 4月	100.6	0.9
29年 5月	101.0	1.3
29年 6月	100.8	1.1
29年 7月	100.5	0.9
29年 8月	100.8	1.2
29年 9月	100.9	1.2
29年10月	100.9	0.8
29年11月	101.5	1.2

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
28年 1月	170	1,710	29,214	223,109
28年 2月	209	2,487	28,703	217,633
28年 3月	323	3,716	27,917	211,772
28年 4月	282	2,521	27,448	207,068
28年 5月	250	2,640	27,079	202,756
28年 6月	256	2,501	26,598	198,544
28年 7月	230	2,527	25,996	193,256
28年 8月	202	2,244	25,491	188,820
28年 9月	252	3,009	24,997	184,133
28年 10月	205	1,906	24,515	179,829
28年 11月	186	1,972	24,000	175,451
28年 12月	204	2,238	23,380	171,671
29年 1月	170	2,097	23,058	168,046
29年 2月	208	2,411	22,663	164,047
29年 3月	276	2,966	21,981	160,358
29年 4月	191	1,438	21,633	157,545
29年 5月	230	1,703	21,337	154,062
29年 6月	350	2,465	21,076	150,616
29年 7月	244	1,866	20,775	147,022
29年 8月	247	2,231	20,421	143,695
29年 9月	311	2,694	20,018	140,909
29年10月	181	1,502	19,727	138,194
29年11月	176	1,630	19,353	135,146

資料: 石川県信用保証協会「保証月報」

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
27年 12月	7	860
28年 1月	7	615
28年 2月	8	690
28年 3月	10	6,265
28年 4月	14	1,386
28年 5月	7	295
28年 6月	7	191
28年 7月	4	123
28年 8月	6	1,394
28年 9月	8	163
28年 10月	3	94
28年 11月	6	2,024
28年 12月	5	369
29年 1月	6	134
29年 2月	9	3,834
29年 3月	12	1,414
29年 4月	6	271
29年 5月	6	1,063
29年 6月	4	204
29年 7月	8	179
29年 8月	4	1,862
29年 9月	8	1,296
29年10月	7	363
29年11月	4	287

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
27年 10月	140	27,084	689	64
27年 11月	149	33,454	772	72
27年 12月	119	19,782	645	60
28年 1月	142	26,145	435	40
28年 2月	97	19,478	403	47
28年 3月	99	17,956	521	54
28年 4月	127	28,392	733	72
28年 5月	92	18,391	461	50
28年 6月	139	26,797	863	82
28年 7月	116	24,556	838	77
28年 8月	117	21,307	579	57
28年 9月	106	19,914	702	63
28年 10月	108	19,294	677	63
28年 11月	113	22,517	788	69
28年 12月	78	13,641	524	52
29年 1月	116	21,200	625	58
29年 2月	77	16,435	464	46
29年 3月	87	16,538	613	56
29年 4月	100	18,079	591	62
29年 5月	109	20,698	738	70
29年 6月	119	22,664	698	68
29年 7月	100	18,552	650	64
29年 8月	87	16,788	687	65

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
27年 9月	508	13,493
27年 10月	518	10,839
27年 11月	333	11,062
27年 12月	315	7,244
28年 1月	225	6,449
28年 2月	182	3,119
28年 3月	235	12,468
28年 4月	338	34,735
28年 5月	275	15,943
28年 6月	513	19,460
28年 7月	508	12,376
28年 8月	500	13,461
28年 9月	499	10,879
28年 10月	412	11,321
28年 11月	335	5,985
28年 12月	285	6,018
29年 1月	302	5,792
29年 2月	308	8,997
29年 3月	261	13,715
29年 4月	180	29,500
29年 5月	305	27,848
29年 6月	460	11,685
29年 7月	532	13,767
29年 8月	467	9,415

資料:東日本建設業保証㈱(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
27年 12月	2,399	1,288
28年 1月	2,343	1,356
28年 2月	3,223	1,932
28年 3月	5,620	3,009
28年 4月	2,269	1,218
28年 5月	2,485	1,131
28年 6月	3,131	1,498
28年 7月	3,035	1,357
28年 8月	2,373	1,186
28年 9月	3,367	1,679
28年 10月	2,841	1,332
28年 11月	2,984	1,476
28年 12月	2,632	1,288
29年 1月	2,584	1,337
29年 2月	3,601	1,832
29年 3月	6,245	2,973
29年 4月	2,538	1,367
29年 5月	2,594	1,350
29年 6月	3,534	1,129
29年 7月	3,134	1,553
29年 8月	2,489	1,194
29年 9月	3,264	1,764
29年 10月	2,444	1,361
29年 11月	2,423	1,512

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
28年 1月	61,697	8,100
28年 2月	69,634	10,700
28年 3月	76,739	14,900
28年 4月	61,659	14,100
28年 5月	76,506	20,900
28年 6月	71,019	14,300
28年 7月	67,715	13,100
28年 8月	97,797	22,600
28年 9月	71,912	18,200
28年 10月	85,959	21,000
28年 11月	85,742	19,900
28年 12月	73,422	10,900
29年 1月	54,615	7,400
29年 2月	57,478	7,500
29年 3月	75,460	12,000
29年 4月	55,438	10,800
29年 5月	66,457	16,200
29年 6月	63,971	11,500
29年 7月	62,248	14,000
29年 8月	93,928	20,800
29年 9月	65,231	15,500
29年 10月	78,696	16,700
29年 11月	84,816	16,300

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高

(千㎡)

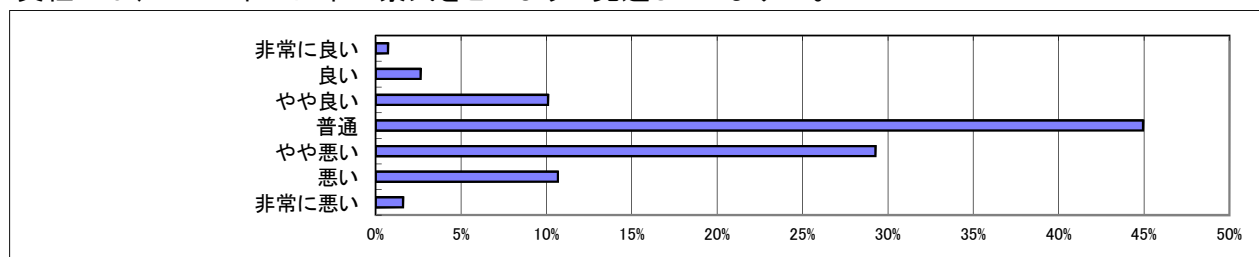
	合計
28年 1月	21,336
28年 2月	22,811
28年 3月	24,980
28年 4月	23,956
28年 5月	22,187
28年 6月	23,997
28年 7月	23,584
28年 8月	20,160
28年 9月	23,508
28年 10月	23,401
28年 11月	24,335
28年 12月	22,089
29年 1月	20,985
29年 2月	21,315
29年 3月	24,049
29年 4月	22,407
29年 5月	22,118
29年 6月	23,820
29年 7月	22,811
29年 8月	21,081
29年 9月	23,521
29年10月	23,154

資料:石川県企画開発

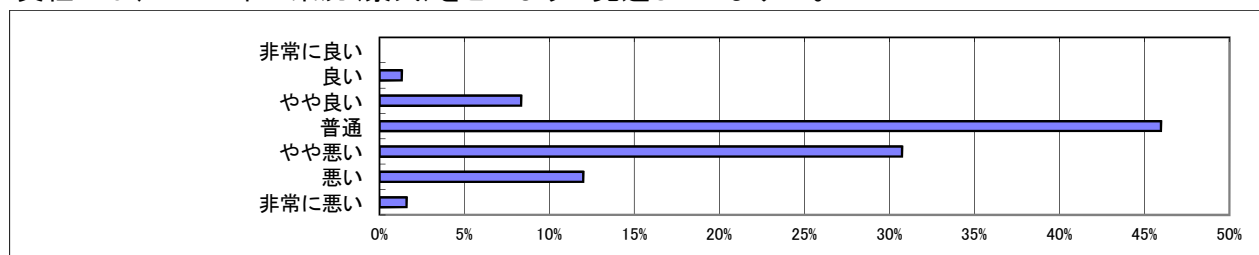
【 2018年（平成30年）の経営見通し 】

特別調査

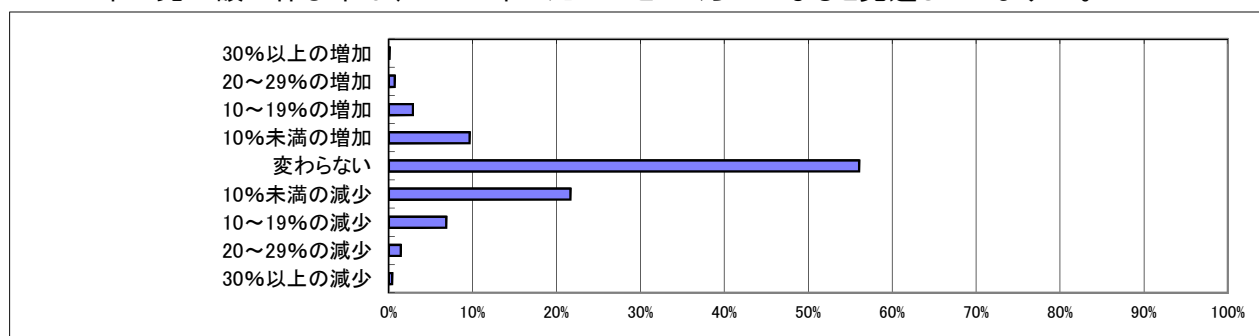
問1. 貴社では、2018年の日本の景気をどのように見通していますか。



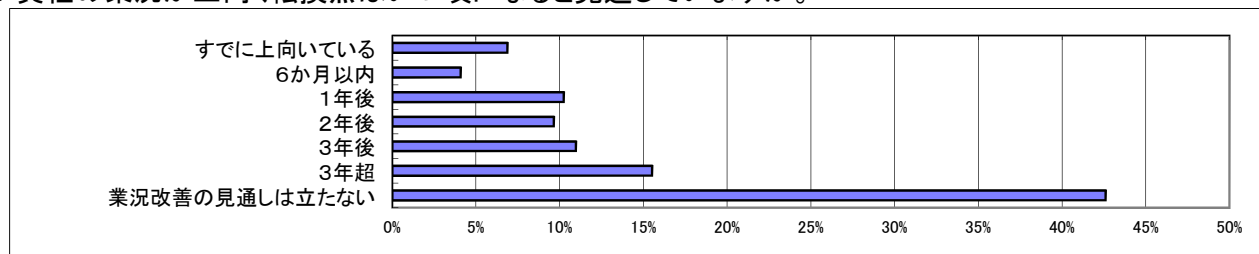
問2. 貴社では、2018年の業況（景気）をどのように見通していますか。



問3. 2018年の売上額の伸び率は、2018年に比べてどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社の業況が上向く転換点はいつ頃になると見通していますか。



問5. 世間一般では、「景気回復を実感できない」という意見が広くみられるようですが、貴社では、どのような状況になれば、世の中が景気回復をより実感できるようになると思いますか。

